

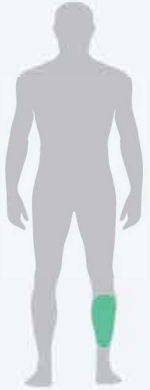
小範囲混合深度熱傷に対する自家網状分層植皮とRECELL[®]併用による完全上皮化

CASE STUDY / Jeffrey Shupp, MD/ MedStar Washington Hospital Center, Washington, DC

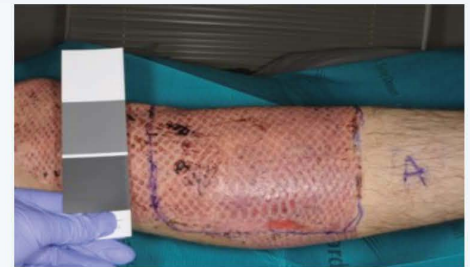
患者の状態

火炎による脚部への6%TBSA混合深度熱傷を受傷した18歳男性。本症例では3:1網状分層植皮 (STSG) と Spray-On Skin[™] Cells を併用した下腿への RECELL 治療に注目する。

RECELL 治療部位



(A) 自家植皮後



(B) 術後2週



(C) 術後52週

治療法

植皮術実施前に面積約336cm²の創部のデブリードマンを行った。180cm²の採皮を行い、RECELLで作成した Spray-On Skin[™] Cells を3:1網状STSGの上から適用した(図A)。創部の被覆には Telfa[™] Clear、その上から Xeroform[™] 及び厚みのあるドレッシング材を使用した。

臨床的アウトカム

術後2週が経過するまでに RECELL 治療部位は100%治癒した(図B)。52週目に患者と観察者による癒痕評価 (POSAS) を実施し、患者は搔痒感なし=1、癒痕の盛り上がり=1、通常の皮膚と同等と評価した。観察者は、癒痕評価全ての項目で通常の皮膚と同等というスコアを付けた(図C)。

結語

本症例では、高倍率自家植皮と RECELL の併用により、小範囲混合深度熱傷の治療成功が示された。RECELL を使用することで、極少量の採皮片で2週間以内の完全上皮化が得られ、長期の優れた整容性アウトカムが得られるという結果となった。

本紙に掲載している症例は、臨床成績の一部を紹介したものです。全ての症例で同様の効果を保証するものではありません。

製造販売元

COSMOTEC
 コスモテック株式会社

RECELL 専用サイト



製造元

avita^{medical}